

林分状況

現地林分の現況は、平成15年3月、ヤクスギ天然木の成立本数と今後の間伐方法等の比較と生長量を調査するために、新たに設定した間伐プロット（プロット数6箇所、1プロット面積10m×10m）の調査の結果、人工植栽を遙かに上回るha当たり17,316本のヤクスギの成立本数が確認され、また、生長も順調に推移しており、改めてヤクスギの天然単層林等として成林する見込みが裏付けられた。

また、現地林分には、ヒメシャラやモミ、カシなどの有用（林業用）樹種の外、他の樹種も生育しており、針広混交林等多様な林相へ移行できる状況である。

今後、各プロット間において実施する間伐方法の違いによる林相の変化と、成長量の比較を行いながらヤクスギ天然更新の普及とデータ蓄積に努めることとしている。

【間伐プロット3：間伐前】



面積：10m × 10m

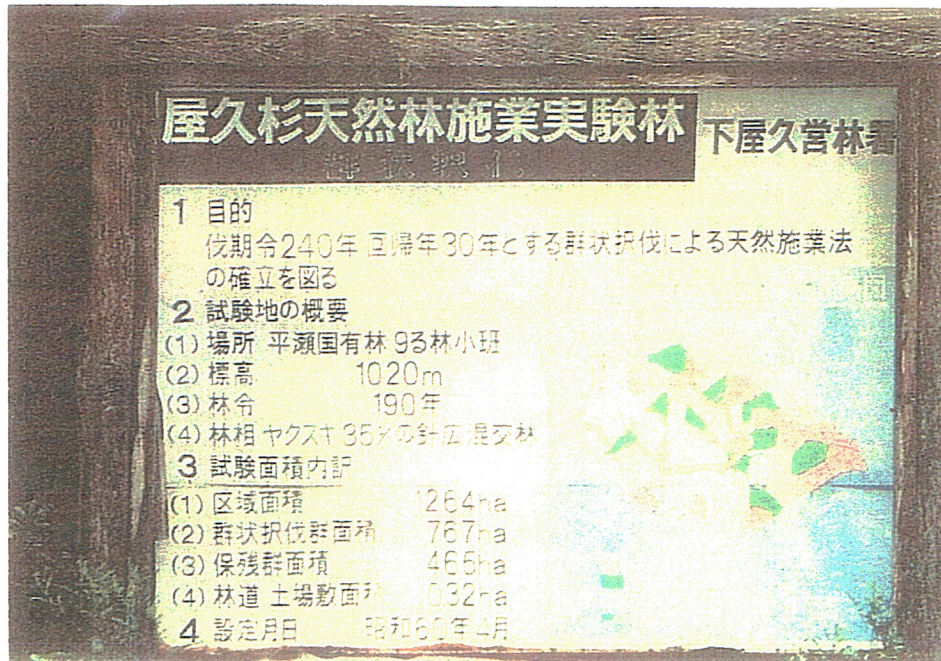
スギ30本程度を保残した以外はすべて除伐し、プロット内5本の成長量を測定する。

【間伐プロット3：間伐後】



平成15年3月間伐を実施

【試験地看板写真】



【試験地全景写真】



別紙1

植生調査表 (単位: %)

調査記号	樹							種		計%
	ハイノキ	シキミ	ヒサカキ	タラノキ	イヌカヤ	イチゴ類	スギ	コケ類	裸地枝条	
1	80		1	1		5			13	100
2	70		1			3			26	100
3	80	2		1		2			15	100
4	10								80	100
5	36	1		1		1	1	10	60	100
6	30	1	2	1		1			65	100
7	40								60	100
8	20	1				1			78	100
9	30				2				68	100
10	15							5	80	100

別紙2

スギ稚樹発生状況

(単位:本)

年度\試験地	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
62	6	1	5	5	10	3	0	1	0	0	31
63	26	27	6	124	46	49	23	19	22	10	352
増減	20	26	1	119	36	46	23	18	22	10	321

別紙3

スギ生長量調査表

番号	D	H	番号	D	H
1	2.7	3.0	24	11.0	6.1
2	0.8	2.0	25	1.6	2.0
3	1.2	2.4	26	1.4	1.8
4	2.0	2.9	27	2.2	3.4
5	1.0	1.8	28	17.4	9.5
6	1.2	1.7	29	0.4	1.6
7	1.0	1.9	30	12.4	8.8
8	12.2	5.6	31	4.0	3.4
9	4.4	3.9	32	4.2	5.1
10	2.8	2.5	33	2.2	2.4
11	0.9	2.5	34	4.0	3.0
12	4.2	4.5	35	1.2	3.0
13	1.0	2.2	36	1.0	1.3
14	1.0	1.1	37	0.9	1.2
15	2.9	3.9	38	0.3	1.4
16	1.4	2.7	39	0.8	2.0
17	1.0	2.0	40	2.2	4.2
18	0.4	1.7	41	0.3	1.2
19	2.8	2.9	42	0.3	1.2
20	4.2	3.2	43	0.4	1.3
21	0.8	2.6	44	1.3	2.6
22	1.2	1.2	45	4.2	5.1
23	0.2	1.6	46	2.4	3.6

D: 胸高直径(cm)

H: 樹高(m)

別紙4

降水量調査表

(単位:mm)

年\場所	大川	淀川	小杉谷
8	3,710	8,484	5,561
9	7,174	6,867	6,584
10	6,394	8,671	8,446
11	5,760	11,718	10,216